

1.新モデル案で変わること

ローカル側)所蔵登録業務

- ◎ 新モデル案では、受け入れ時のMARC番号などを元にそのまま所蔵登録できることから、選書⇒NACSIS-CAT登録のフローを大きく組み替えられる。
- これまでのフローで運用することも可能
- ◎ ローカル所蔵メンテナンスに伴うNACSIS-CAT所蔵メンテナンスの作業がなくなる。
- △ 各書誌に対して自館内で一意なIDを付与し管理する必要がある
- 各書誌に対して自館内で一意なIDを付与し管理していれば、既存のCATPクライアントでも継続運用可能

ローカル側)書誌作成編集業務

- ◎ 書誌編集時は、自館作成書誌以外を編集するときは新規レコードを作ることになるのでレコード調整は発生しない
- 書誌作成時に必須となる項目が削減できる
- 名寄せ時に、他MARCなどからの付加情報が期待できる
- △ 名寄せの精度によっては、誤った書誌情報が提示されてしまうことがある
- 誤名寄せの結果はフィードバックして修正が可能

NACSIS-CAT側)CiNii Books、ILLなどの提供

- ◎ MARC以外の外部データについて、本調査と同様の調査を行って、品質を保証できれば、外部データとして新システムに登録できる。

NACSIS-CAT側)CiNii Books、ILLなどの提供

- 新モデル案でもこれまでと同様の情報・サービス提供が可能
- △ ローカル側のシステム性能によっては、排架情報などは表示できない場合がある。(所蔵館までは表示可能)
- VOL崩しによって、上記制約があってもVOLごとの所蔵館はわかるため、請求記号等がわからなくなるのみ。
- 書誌間、著作間のリンク情報を付加できるため関連情報が充実する

2.要件の簡易整理

新システム(NACSIS-CAT)側での機能要件			備考
A-101	書誌データ登録	各種のMARCをロードし保持する機能	
A-102		既存のNACSIS-CATのレコードを保持する機能	
A-103		既存のNACSIS-CATのレコードについて、VOL崩しを行う機能	本報告書2.1.3
A-104		新規で書誌を作成する機能	本報告書2.1.4
A-105		既存書誌を流用入力する機能	本報告書5.1の案3
A-106		同定ルールや、書誌間の関連を編集する機能	関連: A-204
A-201	名寄せ	ロードされたデータから特徴量となるデータを抜き出す機能	
A-202		機械学習による名寄せ機能	本報告書2.1.2
A-203		確信度に基づく人手判別の要否判断機能	関連: A-301
A-204		強制ルールによる名寄せ/名寄せ解除機能	関連: A-202
A-301	人手判別	作業がしやすいインターフェース	このIFから機能A-106を呼び出す
A-401	データ検索(編集時)	名寄せ済みデータをタイトルなどのキーワードで検索する機能	本報告書5.2
A-402		名寄せ前データをIDから検索する機能	本報告書5.2
A-501	データ検索(利用者系)	現行と同様の検索機能	
A-601	所蔵登録	名寄せ前書誌に所蔵を付ける機能	本報告書5.2
A-602		名寄せ済み書誌に所蔵を付けようとした場合、適切な名寄せ前書誌に所蔵を付け替える機能	本報告書5.2
A-701	データ表示・利用	検索結果から書誌情報を表示する機能	
A-702		現行と同様の書誌データ表示や書き出し、外部リンク等の機能	
A-703		個別の書誌を表示したときに、当該書誌からリンクする所蔵情報を元に所蔵館のシステムに当該書誌について問い合わせして所蔵情報を表示	本報告書5.3
A-704		書誌情報から所蔵館のシステムに問い合わせた際に、その返戻を基に所蔵情報を更新する機能	左記機能があれば、ローカル側からの削除情報は能動的に送らなくても、各所蔵館に問い合わせたタイミングで更新して削除できる。
B-101	ILL	既存のILL機能とのプロキシ機能(旧フォーマットとの互換機能)	
B-102		ILLで指定した名寄せ済み書誌IDから、所蔵館の管理番号に変換し、リクエストを生成する機能	
C-101	自館情報の編集	参加館が自館の情報を編集するための認証機能	
C-102		各館情報(ILLなど)の管理機能	
C-201	データロード機能	参加館が(任意に)ローカルでデータをもてるよう、メタデータ交換プロトコル(OAI-PMH等)でのメタデータ配信機能	
C-301	既存機能との互換維持	既存クライアントでの書誌作成リクエストをプロキシする機能(CATP⇒新フォーマットへの変換)	
C-302		既存クライアントでの所蔵登録リクエストをプロキシする機能(CATP⇒新フォーマットへの変換)	
C-303		既存クライアントからの検索要求を受け付け、返戻する機能(CATP⇒新フォーマットへの変換)	
C-304		既存クライアントが書誌情報をロードできるようにするためのプロキシ機能(新フォーマット⇒CATPへの変換)	
ローカル(参加館)側システムでの機能要件			備考
D-101	データ操作	書誌ごとに自館内での一意なIDを付与する機能	
D-102		一意なIDを所蔵情報として新システム側に登録する機能	IDが一意であればこれまでのクライアントでもC-302により対応できる
D-103		一意なIDをキーとするHTTPリクエストを受け付け、所蔵情報を返戻する	関連: A-703
D-104		書誌間のリンク情報などを操作できる機能	関連: A-106
E-101	その他の機能	新システム側で各種プロキシ機能を持つことで、これまでのクライアントのままでも(効率は悪いが)利用は可能となる。	関連: C-301~C-304
性能要件			
F-101	稼働時間	常に安定して稼働するWebインターフェースが必要	ローカル側が落ちていても、所蔵情報のうち排架位置などが分からなくなるだけで、どの館が所蔵しているかなどは保持できる。
F-102	処理時間	NACSIS-CAT側は大量の外部データ等を取り込み更新し、高速に精度よく名寄せする仕組みが必要	精度と速度のトレードオフであるため、ある程度は調整可能